**【テーマ３】咲洲庁舎の活用促進等**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | ◎咲洲庁舎の安全性確保と収益性の向上をめざし、平成28年９月の戦略本部会議で方針決定した「大手前・咲洲庁舎の整備活用について」に基づき、同庁舎の長周期地震動対策（追加対策）に着手するとともに、７～17階の入居事業者公募を実施します。  （中長期の目標・指標）  ・咲洲庁舎の長周期地震動対策（追加対策）の実施  ・咲洲庁舎の活用促進 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **咲洲庁舎の活用促進** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H30.3月末時点）＞** |
|  | **■咲洲庁舎の活用促進**  ・咲洲庁舎の空きスペースの活用促進のため、低層階（7～17階）の入居者を公募。  ・併せて、次の取組みを実施。  上層階：入居者公募に向けて準備。  店舗区画（1～3階）：不動産斡旋事業者の活用などを通じて、営業事業者の入居を促進。  （スケジュール）  咲洲地区の用途制限に係る大阪市条例改正後の夏頃を目途に、低層階（7～17階）の入居事業者を公募。 | ◇活動指標（アウトプット）  ・低層階（7～17階）の入居者公募を実施し、入居者の選定・契約手続きを行う。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・咲洲庁舎の活用促進  （数値目標）  ・咲洲庁舎の稼動率向上：概ね80％  【H28年末時点稼働率　約68％】 | | ○低層階（７～17階）  ・６月12日から７月14日まで入居者公募を実施。  ・２事業者から応募があり、８月９日に入居事業者を決定・公表。  【決定概要】  事業者名：㈱リコジャパン及び㈱西辻工務店  使用目的：宿泊施設  決定区画：低層階（７～17階）の全フロア  　 ・平成30年1月26日　定期建物賃貸借契約締結。  ○店舗区画（１～３階）  ・６月に新規店舗（飲食店）が１店開業。  ・平成30年4月に、新規店舗（不動産相談）が開業予定。  ○咲洲庁舎の稼働率  低層階入居により、約84％に向上。 |
| **咲洲庁舎の長周期地震動対策（設計）の実施** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H30.3月末時点）＞** |
|  | **■咲洲庁舎の長周期地震動対策（設計）の実施**  　・咲洲庁舎に追加設置する制震ダンパーの実施設計を行う。  【ダンパー内訳（追加対策分）】  鋼材系ダンパー　124台  オイルダンパー　　144台　　計268台  （スケジュール）  29年4月～30年2月：実施設計・積算・工事発注 | ◇活動指標（アウトプット）  ・制震ダンパーの実施設計を行うとともに、平成30年度中の着工に向けた工事の発注準備を進める。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・咲洲庁舎の耐震安全性の向上  （数値目標）  ・国交省新基準（平成28年6月）のクリア | | ○制震ダンパーの実施設計  現地調査の上、詳細な構造解析を行い、補強箇所を確定するとともに、室内工事に伴うレイアウト変更等について部局・テナントと調整し、設計内容を固めた。  【確定したダンパー内訳（追加対策分）】  鋼材系ダンパー　140台  オイルダンパー　　120台　　計260台 |
| **【部局長コメント（総評）】** | | | | | | |
| **＜取組状況の点検＞** | | | | **＜今後の取組みの方向性＞**  自己評価 | | |
| **■咲洲庁舎の活用促進**  当初の目標を達成することができました。  **■咲洲庁舎の長周期地震動対策（設計）の実施**  当初の目標を達成することができました。 | | | | **■咲洲庁舎の活用促進**  低層階の入居事業者と、開業に向け、改修工事等に関する調整を行います。  18階以上のフロアについては、会議室･書庫等の集約により45階以上の高層階にまとまった空きスペースを確保するとともに、事業者のニーズ把握や誘致のためプロモーション活動を行うなど、入居者公募に向けた準備を進めます。  **■咲洲庁舎の長周期地震動対策の実施**  工事発注を行い、平成30年度中に着工します。 | | |